



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月31日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社  
コード番号 4410 URL [www.harima.co.jp](http://www.harima.co.jp)

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理グループ長 (氏名) 上辻 清隆

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 2022年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	56,045	21.9	2,990	210.4	3,205	402.1	1,984	164.8
2021年3月期第3四半期	45,966	16.9	963	72.0	638	81.7	749	65.7

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 3,579百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 9百万円 ( 99.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	78.91	
2021年3月期第3四半期	29.83	

(注) 2022年3月期第3四半期の包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「一」と記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	76,925	39,878	47.7
2021年3月期	69,390	37,441	49.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 36,684百万円 2021年3月期 34,565百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		19.00		19.00	38.00
2022年3月期		19.00			
2022年3月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,800	22.2	3,500	122.0	3,500	220.0	1,700	55.8	67.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	26,080,396 株	2021年3月期	26,080,396 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	914,607 株	2021年3月期	946,459 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	25,153,048 株	2021年3月期3Q	25,122,653 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
参考資料 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、前連結会計年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、先進国を中心とした新型コロナウイルスワクチン接種の進展と積極的な経済対策に支えられ、全体として緩やかな回復がみられました。

日本経済も、ワクチン接種が進んで感染者数も減少傾向となり、9月末には緊急事態宣言も解除されるなど、経済活動の改善に向けた動きがみられました。

このような環境下、当社グループにおきましては、コロナ禍において、前年同四半期に比べ需要が回復しており、拡販に努めて参りました。

当社グループの海外事業は、欧米での粘接着剤用樹脂の売上高が増加し、中国の製紙用薬品事業が堅調に推移したこともあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。利益面でも、売上高が増加したため、前年同四半期に比べて増加しました。

国内事業も、前年同四半期に比べ需要回復により、販売数量の増加となり、売上高、利益面とも前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は560億4千5百万円となり、前年同四半期に比べ100億7千9百万円(21.9%)の増収となりました。

利益面では、営業利益は29億9千万円となり、前年同四半期に比べ20億2千6百万円(210.4%)の増益となりました。経常利益は32億5百万円となり、前年同四半期に比べ25億6千7百万円(402.1%)の増益となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億8千4百万円となり、前年同四半期に比べ12億3千5百万円(164.8%)の増益となりました。

(前年同四半期比)

(単位：百万円)

	当第3四半期 (A)	前第3四半期 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
売上高	56,045	45,966	10,079	21.9
営業利益	2,990	963	2,026	210.4
経常利益	3,205	638	2,567	402.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,984	749	1,235	164.8

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

① 樹脂化成品

(単位：百万円)

	当第3四半期 (A)	前第3四半期 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
売上高	12,995	10,780	2,215	20.6
営業利益 又は損失 (△)	151	△364	515	-

売上高は、ほぼ全ての品目で前年同四半期を上回り、129億9千5百万円となり、前年同四半期に比べ22億1千5百万円(20.6%)の増収となりました。営業利益は1億5千1百万円と前年同四半期に比べ5億1千5百万円の増益となりました。

・塗料用樹脂は、新型コロナウイルス感染症の影響による塗装工事の遅延も緩やかに解消したことから、売上高は増加しました。

・印刷インキ用樹脂は、期初より需要が前期に比べ回復していましたが、8月以降、新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響が強くなり、商業印刷や新聞などに使用されるインキの需要が減少し、売上高は前期並となりました。

・合成ゴム用乳化剤は、半導体不足による自動車生産の影響はありましたが、中古車向け履き替え用市販タイヤの需要が増加し、売上高は増加しました。

② 製紙用薬品

(単位：百万円)

	当第3四半期 (A)	前第3四半期 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)
売上高	15,546	13,506	2,040	15.1
営業利益	1,352	1,442	△89	△6.2

売上高は、段ボール需要の増加を背景に、155億4千6百万円となり、前年同四半期に比べ20億4千万円(15.1%)の増収となりました。営業利益は、13億5千2百万円となり、原材料価格の高騰の影響もあり、前年同四半期に比べ8千9百万円(△6.2%)の減益となりました。

- ・国内では、加工食品や通販の市場拡大による段ボール需要の増加に加え、商業印刷や新聞広告などの需要が緩やかに回復したことから、紙、板紙の生産量が増加し、売上高は増加しました。
- ・中国では、紙、板紙の生産量回復に加え、古紙輸入規制強化による紙力増強剤の需要が拡大したことから、売上高は堅調に推移しました。しかし、原材料価格の高騰に伴い営業利益は減少しました。
- ・米国では、段ボール原紙の需要が回復し、紙、板紙の生産量が増加したことから、売上高は増加しました。しかし、原材料価格の高騰に伴い営業利益は減少しました。

③ 電子材料

(単位：百万円)

	当第3四半期 (A)	前第3四半期 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)
売上高	4,762	3,506	1,256	35.8
営業利益	499	125	373	297.6

売上高は、自動車業界の回復や、旺盛な半導体需要の継続もあり、47億6千2百万円となり、前年同四半期に比べ12億5千6百万円(35.8%)の増収となりました。営業利益は売上高の増加に伴い、4億9千9百万円と前年同四半期に比べ3億7千3百万円(297.6%)の増益となりました。第3四半期に入り、半導体不足による生産調整の影響を受けました。

- ・熱交換器用ろう付け材料は、半導体不足による自動車生産の影響はありましたが、自動車生産台数が回復傾向にあり、自動車用熱交換器の需要が増加しました。また、前期は新型コロナウイルス感染症の影響で販売が大きく落ち込んだこともあり、売上高は増加しました。
- ・はんだ付け材料は、自動車業界の回復に加え、自動運転や電動化により電子部品の需要が増加傾向にあることから、売上高は増加しました。
- ・半導体用機能性樹脂は、パソコンや5G通信インフラの拡大など旺盛な半導体需要が継続していることから、売上高が増加しました。

④ ローター

(単位：百万円)

	当第3四半期 (A)	前第3四半期 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)
売上高	21,600	16,938	4,661	27.5
営業利益	1,739	9	1,730	約186倍

売上高は、新型コロナウイルスワクチンの接種が進んだ欧米での経済活動の回復もあり、216億円で、前年同四半期に比べ46億6千1百万円(27.5%)の増収となりました。営業利益は売上高の増加に加え、欧州、米国での生産の合理化により、17億3千9百万円と前年同四半期に比べ17億3千万円(約186倍)の大幅な増益となりました。

- ・粘着剤用樹脂は、通販市場の拡大に伴い荷物の発送先を記載する宛名用ラベルシールに使用される粘着剤用樹脂の販売が世界的に好調に推移し、また、道路標識用塗料向け樹脂の需要も堅調に推移したことから売上高は増加しました。
- ・印刷インキ用樹脂は、情報のデジタル化を背景に需要の低迷が続いているものの、北米、南米など一部の地域で需要が回復傾向にあること、原材料価格の上昇に対する販売価格への転嫁が進んだことにより売上高は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2021年12月末 (A)	2021年3月末 (B)	増減額 (A－B)	増減率 (%)
流動資産合計	42,537	35,567	6,970	19.6
固定資産合計	34,387	33,822	564	1.7
資産合計	76,925	69,390	7,535	10.9
流動負債合計	26,556	20,902	5,654	27.1
固定負債合計	10,490	11,045	△555	△5.0
負債合計	37,046	31,948	5,098	16.0
純資産合計	39,878	37,441	2,437	6.5
負債純資産合計	76,925	69,390	7,535	10.9
自己資本比率 (%)	47.7	49.8	－	△2.1

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前期末に比べ75億3千5百万円の増加となりました。自己資本比率は47.7%となりました。増減の主なもの、流動資産では現金及び預金が10億1千6百万円増加し、受取手形及び売掛金が34億7千万円増加しました。負債では支払手形及び買掛金が21億5千5百万円増加し、短期借入金が増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2021年4月1日から2022年3月31日）の業績予想につきましては、2021年10月29日の第2四半期決算発表時の公表数字を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,478,646	4,495,427
受取手形及び売掛金	17,463,813	20,934,754
有価証券	635,200	1,038,000
商品及び製品	5,462,545	6,673,772
原材料及び貯蔵品	6,584,320	6,963,724
その他	2,017,900	2,521,763
貸倒引当金	△75,171	△89,460
流動資産合計	35,567,255	42,537,981
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,305,644	8,370,974
機械装置及び運搬具（純額）	7,182,565	7,142,099
その他（純額）	6,962,578	7,728,128
有形固定資産合計	22,450,788	23,241,202
無形固定資産		
その他	558,133	509,921
無形固定資産合計	558,133	509,921
投資その他の資産		
投資有価証券	8,707,896	9,048,867
その他	2,108,464	1,590,227
貸倒引当金	△2,435	△2,435
投資その他の資産合計	10,813,925	10,636,660
固定資産合計	33,822,847	34,387,784
資産合計	69,390,102	76,925,766

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,081,148	10,236,406
短期借入金	8,626,287	11,661,168
1年内返済予定の長期借入金	434,497	312,734
未払法人税等	309,118	553,397
役員賞与引当金	17,290	75,980
その他	3,433,986	3,716,844
流動負債合計	20,902,328	26,556,532
固定負債		
長期借入金	7,727,199	7,635,693
長期預り保証金	555,681	531,181
役員退職慰労引当金	4,403	4,742
退職給付に係る負債	392,945	235,614
資産除去債務	48,985	39,135
その他	2,316,726	2,043,932
固定負債合計	11,045,941	10,490,298
負債合計	31,948,269	37,046,831
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,765,361	9,759,970
利益剰余金	18,337,490	19,366,685
自己株式	△998,288	△964,675
株主資本合計	37,117,515	38,174,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,782	391,296
為替換算調整勘定	△2,720,789	△1,701,432
退職給付に係る調整累計額	△186,527	△179,867
その他の包括利益累計額合計	△2,551,533	△1,490,002
非支配株主持分	2,875,851	3,194,006
純資産合計	37,441,832	39,878,935
負債純資産合計	69,390,102	76,925,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)
売上高	45,966,035	56,045,639
売上原価	35,037,277	42,025,201
売上総利益	10,928,758	14,020,438
販売費及び一般管理費	9,965,209	11,030,011
営業利益	963,548	2,990,426
営業外収益		
受取利息	12,626	26,700
受取配当金	75,616	78,814
不動産賃貸料	25,586	26,320
為替差益	—	33,266
持分法による投資利益	—	194,164
その他	109,161	140,229
営業外収益合計	222,990	499,496
営業外費用		
支払利息	196,566	199,920
持分法による投資損失	144,956	—
為替差損	164,888	—
支払手数料	2,750	50,535
その他	38,838	33,648
営業外費用合計	548,000	284,104
経常利益	638,538	3,205,818
特別利益		
固定資産売却益	11,787	—
投資有価証券売却益	999,636	—
特別利益合計	1,011,423	—
税金等調整前四半期純利益	1,649,961	3,205,818
法人税、住民税及び事業税	352,337	434,096
法人税等調整額	274,692	473,288
法人税等合計	627,029	907,384
四半期純利益	1,022,932	2,298,433
非支配株主に帰属する四半期純利益	273,408	313,541
親会社株主に帰属する四半期純利益	749,523	1,984,892

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,022,932	2,298,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205,560	35,474
為替換算調整勘定	△826,332	1,239,076
退職給付に係る調整額	18,252	6,799
持分法適用会社に対する持分相当額	24	39
その他の包括利益合計	△1,013,616	1,281,390
四半期包括利益	9,316	3,579,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△233,722	3,046,423
非支配株主に係る四半期包括利益	243,038	533,400

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	10,780,024	13,506,482	3,506,406	16,938,920	44,731,834	1,181,724	45,913,558	52,477	45,966,035
(2)セグメント 間の内部売上 高又は振替高	152,077	3,472	—	281,240	436,790	117,439	554,229	△554,229	—
計	10,932,102	13,509,954	3,506,406	17,220,161	45,168,624	1,299,163	46,467,788	△501,752	45,966,035
セグメント利益 又は損失(△)	△364,981	1,442,923	125,564	9,369	1,212,876	25,076	1,237,952	△274,403	963,548

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	12,995,804	15,546,700	4,762,500	21,600,859	54,905,864	1,175,032	56,080,897	△35,257	56,045,639
(2)セグメント 間の内部売上 高又は振替高	198,521	79,033	—	467,856	745,411	136,477	881,888	△881,888	—
計	13,194,325	15,625,733	4,762,500	22,068,716	55,651,276	1,311,509	56,962,786	△917,146	56,045,639
セグメント利益	151,002	1,352,966	499,290	1,739,518	3,742,779	7,447	3,750,226	△759,799	2,990,426

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2022年3月期 第3四半期決算短信  
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2021/3期		2022/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
連結	17.1億円	22.8億円	17.4億円	40.0億円

2. 減価償却実施額

	2021/3期		2022/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
連結	17.4億円	23.5億円	15.9億円	24.0億円

3. セグメント別売上高

	2021/3期		2022/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	107.8億円	147.8億円	129.9億円	172.0億円
製紙用薬品	135.0億円	184.8億円	155.4億円	212.0億円
電子材料	35.0億円	50.0億円	47.6億円	65.0億円
ローター	169.3億円	230.6億円	216.0億円	302.0億円
その他	11.8億円	15.2億円	11.7億円	18.0億円
調整額	0.5億円	0.0億円	△0.3億円	△1.0億円
合計	459.6億円	628.5億円	560.4億円	768.0億円

4. 海外売上高

	2021/3期		2022/3期	
	第3四半期(実績)		第3四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	83.1億円	18.1%	105.8億円	18.9%
欧州	74.9億円	16.3%	99.4億円	17.7%
アジア、オセアニア	102.4億円	22.3%	118.2億円	21.1%
合計	260.4億円	56.7%	323.4億円	57.7%